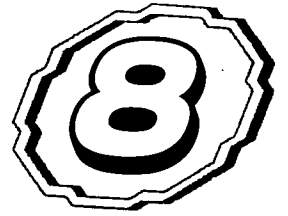


# カナダ



AUG.

## あなたのにゅーたうんKANADA



床屋一筋、六十年

「誠実」をモットーに

切れ味のいいハサミで若々しいカットにしあげる

大久保 秀 男さん(74才) 新町三丁目

まだまだ現役!!

# 分ければ☆資源☆

## 巨大化してしまったゴミの

家庭から出るゴミは、多種多様な物質がごちゃ混ぜにされたものが多い。それから可燃性ガスができ、表面にでてくることもある。捨てられた電池ゴミの中の化学的な物質が、水に溶けて再び飲料水の中で検出される事も。

今すぐ始めよう 一家庭のゴミを減らす6つのステップ

### ●ゴミはごちゃ混ぜにしない!!

理想的には、すべての家庭でガラス、紙、金属、有機物をそれぞれリサイクルできるように、別々のゴミ箱を持った方が……。

台所の生ゴミは庭がないとリサイクルできないが、紙やガラスのリサイクルは絶対にやる必要があります。

### ●過剰梱包の製品は買わない!!

過剰な梱包は最も簡単に避けることのできる家庭のゴミのもとです。最も少量の包装に入った製品を選びましょう。

### ●ばら買いをしよう!!

少量ずつ包装された一般の家庭用製品は、たくさんの量を包装した製品より多くのゴミを生み出します。

例えば、6個の別々の缶に入ったドリンクは、同じ量の入ったビンよりはるかに多くのゴミを生み出します。

### ●再使用可能な容器を選びましょう!!

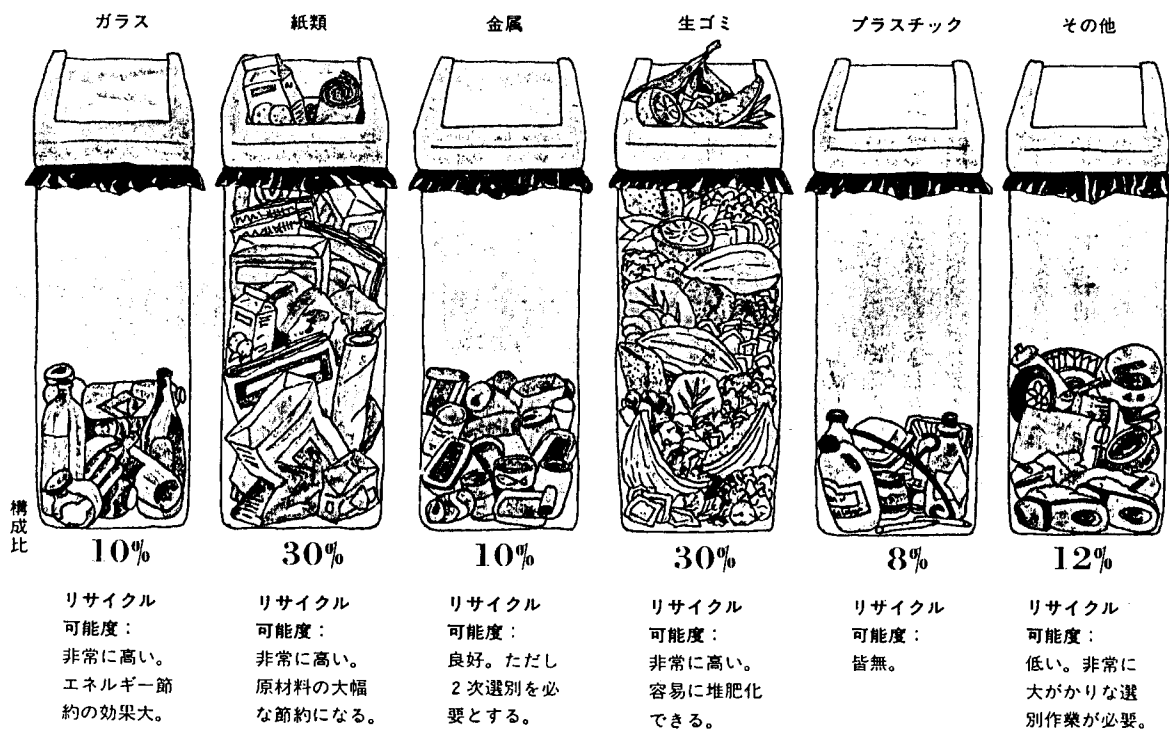
最近めっきり少くなりましたが、再使用可能なびんは缶よりはるかに良いのでは……。できるだけこのような再使用可能な容器を選びましょう。

### ●天然素材でできた包装を選びましょう!!

紙や段ボールでできた包装は再生利用が可能なので、プラスチックよりはるかに良いのでは……。同じ理由で、ガラスのびんはプラスチックよりはるかに良いのでは……。特にそれが再使用可能な場合はそうですね。

## 家庭から出るゴミに何が含まれているか?

普通家庭には週にはぼゴミ箱2箱分のゴミを捨て、年間の合計は2トンに達します。このようなゴミがごちゃ混ぜにされていると、まったく役に立ちません。



左の図は、家庭のゴミがどのような構成からできているかを示すのと同時に、おの成分が再生利用でできる可能性を示しています。ガラス、紙、金属、有機物など家庭のゴミの相当な割合は、完全に再生可能です。(家庭のゴミの全重量の80パーセントに達します)(次号に続く)

# 混ぜればごみ

## 山を切り崩すために

この混合物がゴミ埋立地などで土におおわれると、勝手に腐敗し出しから出た水銀やカドミウムやニッケル、使い残しの溶剤・除草剤などゴミ捨て場はゴミを封じこめるところか、むしろ汚染源に?

## ガラクタだらけの家

家庭のガラクタには、二つのタイプがあります。

- ①包み紙、空きビン、カン、新聞紙など毎日の生活の残り物(家庭のゴミの大半)
- ②壊れた電化製品、古い家具、すり切れたじゅうたんなどの時々しか出ない物

**ガラスのびんやつば**  
ガラスびんの原材料は豊富にあるが、1トンの完成品のガラスを作るためには、原材料を十分に加熱するために140リットルの石油が必要である。したがって、びんを捨てるということは、相当なエネルギーの無駄となる。

**プラスチックの容器**  
家庭のゴミの10分の1はプラスチックであり、その大半は包装に使われている。プラスチックは焼却するためにたくさんの問題を引き起こす。なぜなら、多くのプラスチックは燃やすと有毒ガスを発生するからである。

**アルミ缶**  
アルミニウムは比較的新しいものであるが、急速に家庭のゴミの仲間入りをするようになった。アルミニウムの4分の1は再生利用することができるのに、現在ほとんどがそのまま捨てられている。

**街路食品**  
**ゴミ箱**  
**プラスチックの買物袋**  
**プラスチックのフィルム**  
**発泡スチロールの食品容器**  
**発泡スチロールの包装材料**  
**テイクアウトの食品**  
**新聞と雑誌**

**種分けしていないゴミ**  
家庭のゴミをすべて一つのゴミ箱に入れると、ほとんどリサイクルは不可能になる。また有機物と家庭用の化学薬品を一緒に捨てることは、処理を危険にする。

**複合素材**  
多くの家庭用製品は、プラスチック、紙、金属などを複合させた分離不能な素材で包装されている。

**新聞と雑誌**  
1年分の新聞をゴミ箱に捨てると、リサイクルが簡単な、貴重な生活必需品である紙を少なくとも100キロ無駄にすることになる。

生ゴミ処理容器(コンポスト)の申込みは、印鑑をもって、福祉課まで残り僅かとなりました。